

# はじめての文化祭 盛大に

## 一ツ葉高校

平成20年11月、目丸の旧白糸第3小学校に設立された広域通信制・単位制高校、一ツ葉高校の初の文化祭が10月26日に開催されました。文化祭には、熊本・福岡・小倉・代々木・立川の5つのキャンパスから230人の生徒、約80人の先生、職員の方々が目丸の一ツ葉高校本校に集結しました。

広域通信制・単位制一ツ葉高校は、町内はもとより、全国の不登校児童生徒や中途退学者に高校就学機会を提供できる高校として設立されました。子どもたちにセカンドチャンスを提供するため、負担が少なく、個人のペースに合わせた学習が可能である通信制・単位制をとっており、現在、300人以上の生徒が在籍しています。

これまで、一ツ葉高校は、年に2回ほどのスクーリング時に、各キャンパスから山都町に生徒が集まるための学習をしてきましたが、今回の文化祭は、新たな試みとして生徒、先生方の熱い想いが原動力となり、文化祭の実現にいたしました。

しかし、その実現までには、相当な苦勞があったようです。生徒の自主性を尊重するために、準備には各キャンパスから選出された実行委員が中心になり、催しの内容や掲示物の内容を決定しました。福岡・熊本・東京から集まる話し合いも行われ、文化祭の前日も遅くまで校舎で準備作業を行っていました。

文化祭の開会式では、地元の伝統芸能である目丸棒踊り、そして大阿蘇蘇陽太鼓喜楽による演奏と太鼓体験教室などがあり、佐藤利幸校長や生徒も飛び入り参加して伝統芸能に触れました。開会式の最後には、生徒全員による一ツ葉高校の校歌が披露されました。この日のために

練習を重ねた歌声が会場に響きわたりました。

教室では、各キャンパスの日の頃の活動やそれぞれの町の様子を紹介する壁新聞が掲示され、地元のお客さんが熱心に見入っていました。さらに、昼食は生徒たちから山都産のお米で作ったおにぎりや豚汁など地産地消をテーマにした食事が振る舞われました。

午後からの体育館でのステージでは、男子生徒による、キャンパス対抗の女装コンテストや、留学生による踊りと歌の披露もあるなど異文化交流の場にもなったようです。

230人の生徒は、地域の方との触れ合いに、生き生きとした表情を見せていました。

白糸自治振興会の山崎会長は「文化祭の日を指折り数えて待っていた。地域が賑やかになるのはとてもうれしい。」とたくさんの方々が訪れた校舎を見ながら話してくれました。

生徒、先生、地域の方々が一体となった、はじめての文化祭は大盛況のうちに終了しました。生徒には高校生活の素敵な思い出になったことでしょう。



男子生徒による女装コンテスト



生徒の壁新聞に興味津々



生徒と職員全員で校歌を披露

# 畜産まつり

10月30日（日）に「第10回熊本県畜産まつり」が熊本県家畜市場（大津町）で開催されました。共進会部門において山都町から9人の方が出品されました。



黒毛和種肉用種牛5部  
名誉賞2席：あさがお号（飯星一敏さん）



飼料作物部門 乾草1部  
名誉賞3席 イタリアンライグラス（西山修一さん）

肉用種牛部門

黒毛和種

■肉用種牛1部

優良賞 あき号

木下堅さん（山田）

■肉用種牛2部

優秀賞 あやか号

楠村嘉朗さん（白小野）

■肉用種牛3部

優秀賞 ひまわり号

中川博人さん（田小野）

優秀賞 ゆかり5号

高森雄二さん（入佐）

黒毛和種

■肉用種牛5部

名誉賞2席 あさがお号 飯星一敏さん（柏）

優良賞 ふくたか4号

吉田三千夫さん（米生）

■肉用種牛6部

優秀賞 うめさかえ号 飯星一敏さん（柏）

優良賞 ほしはるやす号 飯開康裕さん（男成）

■肉用種牛7部

優秀賞 第2ひめ号 飯星一敏さん（柏）

優良賞 よしこ号 北川康仁さん（葛原）

飼料作物部門

■乾草1部

名誉賞3席 イタリアンライグラス 西山修一さん（菅屋田）

## 矢部中サッカー部

## 後援会が寄贈



寄贈されたラインマーカー

矢部中サッカー部後援会から町営グラウンド用のラインマーカー1台が町へ寄贈されました。矢部中学校サッカー部は、昨年の県中体連で好成績を残し、九州中体連へ出場しました。後援会では「九州中体連出場の際のみなさんのご協力に感謝しています。そこで何かできることをと考え、練習などで利用する町営グラウンドにラインマーカーを贈ることにしました」と寄贈の経緯を話してくれました。

## 熊本経済同友会が山都町へ「水と農業を学ぶ」

熊本経済同友会の環境部会24人が九州脊梁山地や町内の有機農業、バイオディーゼル燃料の利用状況、さらに通潤橋などの観光地を視察しました。

熊本経済同友会は熊本の企業経営者の団体で、いわば熊本経済の中核を担う方々。その中の環境部会（部会長は東光石油(株)代表取締役会長石原靖也氏）は、熊本の特性を生かしつつ経済振興を誘発することなどを目的に活動を行っています。同部会では昨年水と農業の視察研修を始め、阿蘇に続いて今回は山都町を舞台に研修が行われました。

初日の10月19日、九州の水がめといわれる九州脊梁山地から視察をスタート、ブナの原生林で緑川水系の始点を歩きました。

続いて御岳地区に移動。先進的に有機農業に取り組んできた飯星幹治さんと村山信一さん、藤本完一さんから、町内有機農業の歴史と現状、そして課題となる後継者の問題等について話を聞き意見交換をおこないました。

その後、幹治さんの息子さん、淳一さんが作るレタスの圃場へ移動しました。そこで有機野



飯星淳一さんのサニーレタスを試食する参加者



今回参加された熊本同友会環境部会のメンバー

## 海の幸山の恵みの競演「うまかもん祭」

11月3日、毎年恒例の山都町「うまかもん祭」が山都町飲食業組合の主催で商店街内の旧浜町会館駐車場を会場に開催されました。お馴染みの山都コロッケやしし汁、やまめの塩焼きなどの山の恵みはもちろん、今年は「はままち軽トラ市」として普段山都町では味わえない新鮮な魚や海産物、加工品が熊本の宝島・天草からはるばる運ばれ、海・山の味覚が豪華に勢揃いしました。ステージでは、町内外で幅広く活躍中の大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の演奏のほか歌手の慶徳二郎ショー、牛深高校郷土芸能部による牛深ハイヤ踊りなどが会場を盛り上げ、周辺では人力車やハーレーの無料試乗体験も実施。祭りを楽しむ家族連れの賑わいが終始会場に溢れていました。



会場を盛り上げた慶徳二郎さんのショー